社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和07年03月24日

計画の名称	綱島駅東口周辺地区都市再生整備計画事業												
計画の期間	令和０２年度　～　令和０４年度　(3年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	横浜市												
計画の目標	大目標　現在建設中の相鉄・東急直通線の新駅（新綱島駅（仮称））整備に伴う、新綱島駅周辺地区土地区画整理事業及び新綱島駅前地区市街地再開発事業等により、 都市基盤施設を整備するとともに商業施設・業務施設・都市型住宅等の都市機能の集積を図り、駅周辺のポテンシャルを生かした土地利用を促進する。 小目標　①新綱島駅（仮称）に綱島方出入口を整備し、綱島駅と新綱島駅を安全かつ円滑に結ぶ動線の一部を形成することで、地区の安全性・回遊性・利便性向上を図る。 ②地域住民の文化芸術活動の交流拠点として（仮称）港北区民文化センターを整備し、必要な都市機能の集積を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	3,776	A	3,776	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		R4
1	（仮称）港北区民文化センターの整備による、文化施設・文化振興に対する満足度の向上			
	区民文化センターの整備や市民文化の振興に対する満足度 文化施設に対する満足度	17%	%	20%
2	（仮称）港北区民文化センターの整備による、芸術文化活動等に参加している人の割合の向上			
	よく、あるいはときどき芸術文化活動等に参加している 芸術文化活動等に参加している割合	2%	%	3%
3	新綱島駅綱島方出入口（地下通路）の整備により、歩行者交通量が分散され、安全で快適な歩行者空間が確保される			
	歩行者交通量（ピーク時）に対する減少 綱島東線の歩行者安全水準の向上	2369人/時	人/時	1362人/時

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000641089

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	－	－	綱島駅東口周辺地区都市再生整備計画事業	地域生活基盤施設等　4.7ha	横浜市	■	■	■			3,776		－
											小計						3,776		
											合計						3,776		

案件番号：　0000641089

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正性を確保するため、学識経験者を入れた評価を実施した。	事後評価：令和６年度
	公表の方法 横浜市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・綱島東線の地下に、安全かつ快適な歩行者動線ができ、安全性等が向上した。 ・地域の文化活動の拠点となる区民文化センターが整備され、特色のあるまちづくりにも繋がる文化芸術活動が始まっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

【学識経験者の意見】
◆地下通路
　民間ビルに直接アクセスでき、現時点でも駅から商業施設への誘導という一定の整備効果はあるものと考える。今後開発が進み綱島駅と新駅のアクセスが向上すれば、より利用者も増え、整備効果も高まっていくものと思う。
　従後の推計値の算出にあたり、すべてを見込むことは困難であり、評価時点で条件の差異が発生することがある。一例として整備した場合としなかった場合を比較し、整備効果を検証する方法（With-Withoutの原則）もあるため、色々な方法を検討してみてほしい。
◆区民文化センター
　市街地再開発事業による機能集積に併せて駅前に整備したことで交通利便性・快適性の観点から文化芸術活動の高まりが一層期待される。
　芸術文化活動等に参加している割合が目標に達しなかったことについては、開館から時間が経過していない時点での検証だったこともあり、今回の区民文化センター完成が与えている影響は大きくないものと考える。一方で、区民文化センターの開館というポジティブな要因があった中で、結果値が従前値を下回ったことは内部で検証しておくことが必要。
　今後の区民文化センター整備にあたっても、周辺の既存ストックの持つ特性も勘案し、まち全体で効果が最大化されるよう、地域ごとに必要な機能を備えた施設整備を引き続き進めてほしい。

案件番号： 0000641089

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	文化施設に対する満足度		
	最　終 目標値	20%	港北区区民意識調査において文化振興に関しての満足度（１～５点）を調査したところ、同質問に対して点数をつけた回答のうち、満足していると思われる４～５点をつけた人の割合が26.7%であった。地域住民の文化芸術活動の交流拠点として港北区民文化センターが整備されたことで、必要な都市機能が集積された。
	最　終 実績値	27%	
2	芸術文化活動等に参加している割合		
	最　終 目標値	3%	令和６年３月の港北区民文化センターの開館から調査実施（令和６年10月）までの日が浅く、施設の稼働実績が少ない状況だったため評価値が目標値には達していないものの、港北区民文化センターの利用者を対象としたアンケート調査では、約65%の人がセンターができたことで文化活動や鑑賞の場が広がったと回答しており、７割近くの人がセンターの交通アクセスの良さやその設備や環境について評価している。実際に港北区民文化センターを利用してもらうことで芸術文化活動に参加する人の割合が今後、増えていくものと思われる。
	最　終 実績値	2%	
3	綱島東線の歩行者安全水準の向上		
	最　終 目標値	1362人/時	横断歩道やバス乗降場の位置変更、駅利用者が想定よりも少ないこと等の要因もあるが、歩行者の安全水準の向上に一定の効果があった。
	最　終 実績値	834人/時	

案件番号：0000641089